

# 愛知スキー協通信 No.357

発行：新日本スポーツ連盟 愛知スキー協会 2024年11月1日  
〒460-0011 名古屋市中区大須 1-23-13 TEL052-201-4801(Fax 共)

e-mail:aichiskikyokai@yahoo.co.jp

http://aichiskykyou.yukigesho.com/



編集：イエティ スキークラブ

## うれしい！宿泊料、リフト料金 据え置き！

### 第27回東海ブロックスノーフェスティバル

10月5日(土)、第27回東海ブロックスノーフェスティバルのスムーズな運営をめざして、現地へ下見に行ってきました。参加者は岐阜(佐藤)、静岡(加藤)、愛知(澤田・浅井)の4人です。宿泊料金とリフト料金などの確認と、昨シーズンまでの反省点から実行委員会で要望事項をまとめ持っていきました。

今年4月には宿泊料は昨年並みとのことでしたが、今夏の諸物価の値上がりが激しく、どうなるかと心配でした。話し合いの結果、宿泊料・リフト料金は昨年と同額ということでひとまずホッとしました。

後は雪の心配。行事を実施する、しないの判断は2025/1/9までに。それ以降はキャンセル料金が必要とのこと。何とかスキー場が営業出来るだけの雪が降ってほしいです。

中村館へは ①寒い部屋へ対策 ②スキー置き場の改善 ③チューンナップの場所の確保 などを願いました。中村館からは1.5泊の参加者は1/24日(金)午後8時以降の入室、1/26(日)帰りの入浴には入湯税150円必要と要望されました。

スキー場へは ①競技会、おもしろ競技会の場所の確保 ②スキー場の安全確認 ③食堂あんきやの貸し切り場所を明確にすることと扉を7時半に開けるなどを願いました。また、フェスティバルのチラシ配布とポスターの掲示を願いました。



店内のチューンナップ場所

です。そのご厚意で第26回フェスタの協賛団体になっていただきました。下呂市萩原町にあります。競技会の賞品への協賛があります。大変楽しみです。

私たちはこの機会を逃してはと、みんなお酒を購入しました。下見とお買い物を兼ねたいいい1日でした。(浅井)

次にキープワン。キープワンにはいつも土曜の夕食後チューンナップ講習会と物品販売をお願いしています。来シーズンもお願いしてきました。

キープワンは高山市石浦町にある有名なゴルフ・スキーのチューンナップ専門店です。店内にはチューンナップの道具が店の半分を占め、その日も店員さんが忙しく働いていました。

最後は天領酒造。創業1680年。ここはイエティスキークラブの会員の实家のお店



自慢のお酒とお店

# ブロック交流学習会の報告

10月19・20日

第42回スキー交流学習会が、なかちゃんハウスで開催されました。愛知は10名の方々が参加され、岐阜・静岡・三重の全部で20名でした。



野瀬全国技術部長

第1課は、技術講座として、全国技術部長の野瀬孝さんがお話してくださいました。野瀬さんは、スキー協の全国デモや中央研修会の講師のみならず、他団体の技術選にも出場され、技術の研鑽に励んでおられます。私は、野瀬さんに教えていただく機会がありましたが、鋭い目と分かりやすいデモンストレーションに驚きました。野瀬さんが所属されている滋賀県、関西ブロックは、基礎スキーをする方が多いとおっしゃっていました。野瀬さん曰く、基礎スキーとはスキーの基礎ではなく、スキー演技による採点種目競技であり、与えられた斜面を使っていかに求められた技術を採点者に見せられるかという演技力が重要とのことでした。アルペンスキーよりもフリースタイルやモーグルに近いとのこと。「スキー協では100点の滑りが教程に書いてあります。大切なのは、角付け・外脚荷重・ポジショニング・回旋・リズム。スキーの3大悪は、内倒・後傾・ローテーション。」とのこと。今シーズンは、ローテーションをしない（腰を回さない）滑りを目指します。腰と股関節の使い分けについての説明がありました。股関節でターンをすることで、怪我を防ぎます。詳しくは、指導員がまずは12月の初滑りで丁寧にお伝えしていきますので、皆様、ぜひ初滑りに参加してください。

また、澤田さんから、S-B-B（スキー、ビンディング、ブーツ）システムの解説から、スキー中の事故・怪我・安全性について、また、競技における旗門員の役割と旗門通過に関連するルールについてお話があり、勉強になりました。

第2課では、各県の問題点を出し合い、組織の発展について話し合いました。「以前は、行事で30人以上集めていた、今もその時のノウハウを生かしてできるのではないか？」「クラブ員の要求に応じていきたい。そのために、クラブでLINEグループを作り、情報交換する。」「物価高・高齢化・体力低下など様々な事情はあるけれども、利便性は良くなっている。他のスポーツをやっている人や他の団体との繋がりや声を掛けていくといいのではないか？」などの意見が出ました。出た意見の中から、早速何か一つでもやってみようと思うことができた話し合いでした。

第3課では、岐阜県広域防災センターにて、災害時の体験学習（煙、地震、消火器）をしました。また、避難場所での仮設テントやベッドなどを見学しました。煙の中での歩行では「迷路の右手の法則」を使います。右手を常に壁に当てていくことで、必ず入口に戻ることができることができます。そして、スキー中の事故や怪我の対応について、岐阜の佐藤さんから、実際の経験をお話いただきました。指導員はパトロールの連絡先の登録は必須です。また、救命・応急手当についても毎年学習が必要だと感じました。

文責：土屋多賀子（直滑降スキークラブ、愛知スキー協技術部員）

## イエティ総会

9月22日 午後1時～4時 大府市にある三宅商店(株)にて行われました。

参加者は、水谷啓子・金田裕と伊織に双子の妹ニーナ・棚橋輝と勇斗・加藤加苗・加藤素幹・澤田安利と知希・三宅秀和・少し遅れて寺田康男でした。

今シーズンの予定を大まかに確認し、どうするか話し合いました。愛知県スキー連盟(県連)の北海道合宿は参加者が少なく実施できないかもと危惧されていること。昨年、愛知県全国中学生スキー大会(全中)・全国高等学校スキー大会(インターハイ OR インハイ)・国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会(国スポ)・中部日本スキー大会(中七)の愛知県予選会県は、無理をして実施しました。それで、今年からインターハイ・全中予選会も安全を図るため1週遅らせて1月第2週になりました。冬休み中の大会がなくなり、妙高合宿をはじめ、どのように強化するか。どの大会に出るのかなどです。

今までエントリーは、だれが出るのか把握するためもありクラブでまとめて行っていました。振込料が安くなるメリットもなくなり、個人でエントリーすることになりました。エントリーミスをなくするためラインにて締め切りをアップし、エントリーを報告することを確認しました。金田伊織君も県連登録しデビュー予定です。

## 愛知県スキー連盟アルペン委員会

県連の社員総会が、9月19日午後6時30分から岡谷鋼機名古屋公会堂(名古屋市公会堂)で行われました。今まで多くの意見が出され実のある総会でしたが、今年は、意見も少なく淡々と終わりました。県連も会員数・指導員数が毎年減っており、今後の展望もあまり感じられませんでした。イエティスキークラブから加藤素幹(アルペン部長)が理事に選出されました。大変な責務と思います。総会で今期の活動も承認され、それを受けて愛知県スキー年鑑がホームページにアップされました。今期の正式なスタートです。



10月18日 本山にある愛知県スキー連盟事務所で第1回アルペン委員会が行われました。愛知県や東海ブロックへの参加者を聞き、競技会が実施できるスタッフがいるか確認していきました。SAJの変更・通達への対応を話し合いました。

4年前から国際スキー連盟(FIS)は、環境と健康に悪影響を与えることが科学的に証明されているフッ素入りワックスの使用を禁止しています。SAJは、本年板に着いているフッ素を量る機械を導入し有資格を養成、抜き打ちに検査することを連絡してきました。つまり、フッ素の入っていない(NF)ワックスだけでなくアイロン・ブラシ・スクレーパなどチューンナップの道具もフッ素入りワックスと接触しないようにしないとイケません。

みなさんの使っているイージーワックスもフッ素入りだと思います。

昨年よりFISはSLのスイッチバック(不通過を通過にするため戻る)を禁止しました。SAJも今年から実施します。GS以上のスピード系では後続選手の安全のため止まったら失格です。SLは、旗門通過・不通過の判定が大変なためようです。FISでは、抗議するときは100フラン払って抗議します。通らなかったら没収です。SAJでは1万円です。

スキー協では楽しめるようにスイッチバックはOKにしています。次の走者の妨げにならないければGSでも認めています。シングルポールの場合は、不通過のポールを一周ぐりと回ることになっています。(敬称を省略しています。3ページ 澤田)

**東海ブロック 2024—2025シーズン予定**

東海ブロック初すべりは12月13日14日菅平高原

パインピークス場

スノーパークイエティは10月25日オープンしました。菅平スノーリゾートは11月中旬オープン予定。パインピークスは12/7日オープン予定。料金は少し上がったけれど良い条件で滑ろう。奮って申し込みましょう。(12/4 締切)

- 12月7・8日(土日開催)・9・10日(平日開催) 全国中央研修会(志賀高原)
- 12月14日(土)・15日(日) 東海ブロック初滑り(菅平パインピークス)
- 1月11・12日(土日) 東海ブロックレベルアップ(野麦峠)
- 1月18・19日(土日) 東海ブロックやぶはらポール練習会
- 1月25日(土)・26日(日) スノーフェスタ・東海ブロック第1戦(平湯温泉)
- 2月1日(土)・2日(日) 東海ブロック御岳ポール練習会①(御嶽・瀬音)
- 2月15日(土)・16日(日) 東海ブロック御岳ポール②練習会(御岳・おんたけ休暇村)
- 2月23・24日 全国スキースノーボード競技大会(湯ノ丸高原)
- 3月1日(土)・2日(日) 東海ブロック第2戦(御岳スキー場・おんたけ休暇村)
- 3月22日(土)・23日(日) 東海ブロック技術部会(野麦峠)

ぶなの木スキークラブ 2025 - 2026 シーズン企画

- 12/21・22 レベルアップ・テレマーク：アルペン 2/1・2 かぐら BC スキー 2/8・9・10 野沢温泉 2/8・9 山田誠二さんと滑る大渚山 2/13-19 十勝 BC スキー 2/15・16 妙高神奈山 BC 3/15-20 十勝白銀荘泊 BC と温泉(定員に達しています)
- 1/15・19 妙高テレマーク合宿：アルペン 1/18 毘沙門岳 BC 2/1・2 白馬十方倶楽部 BC-ski 2/22・23 ネイチャースキー 3/1・2 山スキーリーダー養成等 3/8・9 ぶなフェスタ in 妙高 3/26-29 北海道 利尻 BC ツアー後2名

直滑降クラブ行事

- 11月16日(土) 望年会(レストラン米常)
- 12月31日(火)～2日(木) 年末年始スキー予定
- 1月10日(金) 夜～13日(月) レベルアップ合宿(八方尾根)

山スキーのつどい 11月15日(金)19時～21時 ウィンク愛知(締切11/7)

ZOOM 参加もあります。現地参加は抽選会あります。

2025 シーズン  
**初滑りin菅平**  
東海ブロックスキー協議会

パラレルターンの3要素で  
レベルアップしよう  
角付け、外脚調整  
ポジション

充実したスキー教室あり 教室 1.5日 3000円

実施日 12月13日(金)夜～15日(日)

- 定員 1.5泊 (松原宿 長野県上田市赤平温泉) TEL 0268-74-2171
- 参加費 16,000円 (1.5泊3食、保険料込)
- リフト券 未定

申込先 東海スキー協会 TEL・FAX 059-201-4801  
佐藤 実 TEL 090-1294-6507  
申込締切 12月4日(水)

**指導員の養成・研修も開催されます**

- 指導員の皆さん! これから指導員になろうとしている皆さん!
  - これは年度の最終研修です。教員を卒業して下さい!
  - 申込み額は、初滑りに同じです。
  - 研修 参加の方は、別途3000円必要です。
  - 費の状況によっては追加する場合があります。
- 一般スキー者の指導員に  
技術検定(スキー)の二名  
が予定。技術検定STIを行います。自分の技術レベルを  
知って上達の糧にしよう。  
検定費用と検定料とアップ  
で3000円

休演が強い場合、37.5℃以上の発熱がある場合は参加せず、事務局にご連絡下さい。

2025シーズン初滑り申込書

名前	性別・生年月日	所属
菅平	無	クラブ
指導員養成(初級・中級)	スキー検定	
指導員研修(初級・中級)	(初級・中級・上級) 技術検定(S.T.I)受験	

届への到着予定時間 日 時 分



日時:2024年11月15日(金) 19時～21時  
会場:ウィンクあいち907会議室 及び Zoom 配信  
参加費:会場参加者 1500円 Zoom参加者 500円  
定員:会場参加者 50名 Zoom参加者 100名  
申込の期限:11月7日(水) 申し込み定員になり次第締め切ります  
-申し込みは「山スキーのつどい」ホームページから申し込みをお願いします  
-申し込みは「山スキーのつどい」事務局までお願いします  
-申し込みは「山スキーのつどい」事務局までお願いします  
-お問い合わせ先:山スキーのつどい事務局 TEL:052-733-1111 FAX:052-733-1112  
-お問い合わせ先:山スキーのつどい事務局 TEL:052-733-1111 FAX:052-733-1112

講師 石原 淳(いしはら あつし)さんの紹介  
-1987年 岐阜県高山市生まれ。岐阜県内17市町村の山スキー会にリーダーを務め、スキーインストラクター、一級登山、登山、講演など、多くの山スキー会に貢献。山スキーの魅力を多くの人に伝える活動に情熱を注いでいる。山スキーの魅力を多くの人に伝える活動に情熱を注いでいる。山スキーの魅力を多くの人に伝える活動に情熱を注いでいる。